

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン工学科	
英語演習 I (Language Laboratory I)	担当教員	嵯峨原 昭次(Sagahara, Shoji)	
	教員室	図書館2階(tel.42-9062)	
	E-Mail	sagahara@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回		
〔本科目の目標〕 LL教室で専用の機材を活用して、発音・スピーチ・リスニングの演習を通して、英語を聞き取り、話す基本的な能力を育成する。			
〔本科目の位置付け〕 発音、リスニング、スピーキングを基礎から演習し、その成果を英語 I、II の総合学習に活用する。又、2年次の英語演習 II につなげる。			
〔学習上の留意点〕 防音設備の整ったLL教室で失敗を恐れずに積極的に英語をしゃべること。発音・スピーチ・リスニングの諸活動に積極的に参加すること。評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、発表、インタビューテストなど真面目に取り組むこと。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1) 前期中間試験まで ① Pronunciation(Step1-3) ② Speech(自己紹介) ③ Listening ④ 表現	15	① Step1-2の体操ができる。Step3の音の形ができる。 ② 英語で自己紹介ができる。 ③ リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題が理解できる。 ④ 対話(基礎)表現、対話(感情)表現が理解できる。	① 教科書のStep1-2の体操をすること。教科書を読んでStep3の概要を把握しておくこと。 ② 自己紹介の原稿を作成して練習しておくこと ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
2) 前期期末試験まで ① Pronunciation(Step4-5) ② Speech(対話) ③ Listening ④ 表現  —前期期末試験—	15	① Step4の音のもと(母音、子音、Lの音、Rの音)が発音できる。Step5のアルファベットの発音ができる。 ② クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。 ③ リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題が理解できる。 ④ 対話(基礎)表現、対話(感情)表現が理解できる。 授業項目①～④について達成度を確認する。	① 教科書を読んでStep4,5の概要を把握しておくこと。 ② 対話の原稿を練習しておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
3) 後期中間試験まで ① Pronunciation(Step6-8) ② Speech(暗唱文) ③ Listening ④ 表現	15	① Step6の音の流れが発音できる。Step7音の変化が発音できる。Step8の音の強弱が発音できる。 ② 英語の暗唱文を正しい英語発音で発表できる。 ③ リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題が理解できる。 ④ 対話(場面)の表現が理解できる。	① 教科書を読んでStep6,7,8の概要を把握しておくこと。 ② 暗唱の原稿を練習しておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
4) 後期期末試験まで ① Pronunciation(Recitation) ② Speaking ③ Listening ④ 表現  —後期期末試験—	13	① 暗唱文を正しい発音で読むことができる。 ② 英語で言いたいことを話すことができる。 ③ リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題が理解できる。 ④ 対話(場面)の表現が理解できる。 授業項目①～④について達成度を確認する。  各試験において間違った部分を理解出来る。	① 暗唱文の読みの練習をしておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
試験答案の返却・解説	2		

